

SalonC とは

効果的な出会いと会話を目的とする講演+懇親会です。

会の主催者は、磯谷商店 IT 事業部 長尾正です。2008 年 4 月から、1 年間 CMS Night という IT 系の会を行ってきました。その経験を踏まえて、幅の広いテーマで会を行ってみようと思っはじめるのが、SalonC です。

SalonC の名前は、情報学者で有名なシャノンの本 「通信の数学的理論」(ちくま学芸文庫) からとりました。この本では、通信(コミュニケーション)を A,B,C の 3 段階にわけています。

A は、**技術的**に通信が届くこと。つまり、雑音がない状態です。

B は、**意味**がわかることです。雑音のない明瞭な情報が届いたとしても、それが、ロシア語のように、勉強したことのない言語だったら理解はできません。

C は、**効果**があることです。明瞭ではっきりしたパワーポイントのプレゼンテーションを見せても、よいプレゼンでしたと終わってしまっしまい、何も行動につながらないことがあります。それでは、プレゼンの価値はありません。相手に行動を起こすこと、それが通信 (コミュニケーション) のもっとも重要な役割です。

この 3 番目の C から、SalonC の名前をとりました。SalonC に参加された方の中で、C のコミュニケーションが起こるといいなという意味をこめてあります。

SalonC の目的 知識の共有、知恵の活用

本物の知識の共有と知恵の活用が SalonC の目的です。

インターネットによる情報流通が進んだ現在、本当に価値ある知識の重要性はますます高まっています。

価値ある知識は、体験に基づく、本物の知恵から生まれます。

講演は、社会的な価値を生み出す体験をしている方に、お願いします。本物の知識や、知恵の活用を聞いた参加者は、意識が変わります。

懇親会は、講演の余韻が残っている中で、SalonC 的なコミュニケーションを促進するのが目的です。主催者はそんな雰囲気の中で懇親会が進行するように、こころがけます。多くの、みなさんの参加をお待ちしています。